

Kenko

ケンコー 防水デジタルカメラ

KC-WD2000

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

早見表

セット内容  ▶16	各部の名称  ▶17	ボタンの機能  ▶18	モード切替  ▶20	フロントカメラ・ リアカメラの切替  ▶21
充電電池の 取り付け  ▶22	充電電池の充電  ▶24	電源の オン／オフ  ▶27	microSDHC/SDXC メモリーカードを使用する  ▶28	
 microSD メモリーカード を取り付ける ▶31	 microSD メモリーカード のフォーマット Format ▶33	日時の設定  ▶35		
言語の設定  ▶36	静止画の撮影  ▶38	ズーム撮影  ▶39	内蔵 LED フラッシュ  ▶40	画像サイズ  ▶44

早見表

セルフタイマー



露出



ホワイト
バランス



ISO 感度



手振れ軽減



動画の撮影



ビデオサイズ



ファイルの
再生



動画ファイル
の再生



設定メニュー



パソコンとの
接続



PC Camera



故障かなと
思ったら



記録可能枚数 /
時間の目安



仕様





目次

はじめに	07
------	----

安全上のご注意	08
---------	----

カメラの紹介	16
--------	----

セット内容	16
各部の名称	17
ボタンの機能	18
LEDインジケータ表示	20
モードの変更	20
フロントカメラ・リアカメラの切替	21

ご使用の前に	22
--------	----

充電電池の取り付け	22
充電電池の充電	24
リチウムイオン充電電池に関する安全上のご注意	26
電源のオン／オフ	27
ストラップの取り付け	27
microSDHC/SDXCメモリーカードを使用する	28
microSDメモリーカードを使用する前に	29
ファイル名／ディレクトリ名を変更しない	30
microSDメモリーカードを取り付ける	31

microSDメモリーカードのフォーマット	33
日時の設定	35
言語の設定	36

静止画モード	37
--------	----

静止画撮影モードの液晶モニター表示	37
静止画の撮影	38
ズーム撮影	39
内蔵LEDフラッシュの設定	40
画面表示の設定	41
静止画撮影メニュー	42
モード設定	43
画像サイズ	44
アスペクト比	45
セルフタイマー	46
連続撮影	47
美肌	48
HDR	49
露出	50
ホワイトバランス	51
画質	52
シャープネス	53



目次

ISO感度	54
効果	56
手ぶれ軽減	58
顔検出	59
C-AF	60

動画モード 61

動画撮影モードの液晶モニター表示	61
動画の撮影	62
ズーム撮影	63
内蔵LEDライト	63
動画撮影メニュー	64
モード設定	64
ビデオサイズ	65
HDR	66
露出	66
ホワイトバランス	66
シャープネス	66
効果	66
手ぶれ軽減	66
C-AF	66

再生モード 67

ファイルの再生	67
静止画再生モードの液晶モニター表示	68
再生ズーム	69
サムネイル表示	70
動画再生モードの液晶モニター表示	71
動画ファイルの再生	72
再生メニュー	73
消去	74
保護	75
回転	76
トリミング	77
スライドショー	78

設定モード 79

設定メニュー	79
言語	79
日時	79
日時表示	80
日付形式	81
省電力	82



目次

操作音	83
フリッカー低減	84
フォーマット	85
リセット	85

パソコンとの接続 86

パソコンとの接続	86
モード設定	86
MSDC	87
データの保存	88
転送時のご注意	89
ファイル名について	89
PC Camera	90
充電のみ	90

故障かな?と思ったら 91

記録可能枚数／時間の目安 93

静止画	93
動画	94

仕様 95

仕様	95
必要なパソコン動作環境	98

保証規定 99



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書と保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が書かれています。
本書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。
本製品をご使用中に生じたいかなる二次的損害についても補償いたしかねます。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 本製品の使用および故障により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 ※物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害を示します。

図記号の例	 〇記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は〇の中や近くに文章や絵で示します。
	 ❶記号は強制(必ずやること)を示します。 具体的な強制内容は、❶の中や近くに文章や絵で示します。左図は一般的な強制を示します。

危険

	可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投下などは行わないでください。 本製品を高温の場所（真夏の車内、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。
--	---



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告



- 目に深刻な損害を与える恐れがありますので、至近距離で内蔵 LED ライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。



- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告



- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 火の近く ●温度・湿度の変化が激しい場所 ●直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- ケーブルやストラップ等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。



安全上のご注意 必ずお読みください。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数、撮影時間が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

防水性能

- カメラの防水性能は、IPX8 です。
- 水中でのカメラの耐水性を維持するために、連続して 60 分以上使用しないでください。
- 付属のアクセサリは防水ではありません。

水中で使用する前の注意

(砂だらけまたは埃っぽい環境、または水辺で次の行為を行わないでください)

- 充電池 /microSDHC/SDXC メモリーカード(以下 microSDメモリーカードと表記します) スロット・USB Type-C ポートの周りが汚れていないことを確認し、埃や砂、または異物が中に入らないようにしてください。
- 電池蓋のゴムパッキンに亀裂や傷が付いていないことを確認してください。
- 電池蓋が閉じ、ロックがされていることを確認してください。
- カメラに異常がないことを確認します。カメラを落とした場合、販売店で故障していないか確認するようにお勧めします。



安全上のご注意 必ずお読みください。

通常使用の場合の注意

(付属USBケーブル (Type-A to Type-C) をコンピューターに直接接続する場合、電池蓋に触れてゴムパッキンを傷つけないように注意してください。防水性能が失われる原因となります)

- 水辺 (海、湖、海岸など) で電池蓋を開けたり閉じたりしないでください。
濡れた手、または砂や埃の付いた手でカバーを開けたり閉じたりしないでください。
- カメラに使用するアクセサリ (電池など) は防水ではありません。使用の際は十分に注意してください。
- 耐水性が失われることになるため、カメラを落とさないでください。
- 耐水性が失われないように、40℃以上または0℃以下の温度環境にカメラを保管しないでください。
- ご自分でカメラに防水を施したり通気口を密閉したりしないでください。カメラの防水機能が損なわれる原因となります。

カメラを水中等で使用するとき

- カメラの防水性は真水と塩水にのみ適用されます。洗剤、化学薬品、または温泉水には適用されません。
このような液体がかかった場合、直ちに拭き取ってください。
- 水深1.5m以上の水中では、一部の切替ボタン (レンズ切替ボタン・内蔵LEDフラッシュボタン) が使用し辛い場合がございます。
- 水深5m以上の水中では使用しないでください。
- カメラを圧力のかかった水に浸けないでください。
- 60分以上長く、水に浸けないでください。カメラを水中で使用したら、10分以上乾かしてください。
- カメラを35℃以上の温水に浸さないでください。
- カメラが濡れていたり水中にある場合、電池蓋を開けたり閉じたりしないでください。
- 濡れた手で電池蓋を開けたり閉じたりしないでください。

●次ページへ続く



安全上のご注意 必ずお読みください。

●前ページより続き

- 水気のあるところやプールの傍で電池蓋を開けないでください。
- カメラを水中で叩いたり打ち付けたりしないでください。電池蓋が開くことがあります。
- 水中に飛びこむなどの衝撃をカメラに与えないでください。

カメラを使用した後

- 水中での撮影後は以下の簡単なメンテナンスで、カメラの外観、品質、耐水性が保たれます。
- 海中で写真を撮影した後は、塩分を含まない水の入ったバケツでカメラを洗浄してください。
電池蓋が閉じていることを確認し、バケツ1杯の水に10分ほど浸します。その後、水から取り出して、カメラとレンズを脱脂綿で拭いて乾かします。カメラを通気のよい日陰に置いて自然乾燥させます(直射日光に当てたり、風雨にさらされる場所に置かないでください)。カメラが完全に乾いたことを確認してから、電池蓋を開けてください(脱脂綿を当てて水分をよく取るか、カバー周りの他の不純物を取り除いてから、電池蓋を開けます)。
- 柔らかい糸くずの出ない布(繊維状の物質を防ぐため)でカメラとレンズの水滴を拭き取り、換気のよい場所において乾燥させます。電池蓋は乾燥しないうちに開けないでください。水気がある間に開けると、カメラに水が入る恐れがあります。開けるときは右側面を下にして水滴がカメラ内部に入らないようにしてください。
- 電池蓋を開ける前に、必ず電池蓋外部の水滴を拭き取ってください。



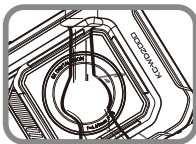
安全上のご注意 必ずお読みください。

メンテナンス上の注意

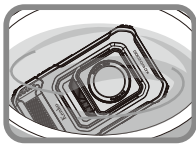
- 防水のシーリング材やその収縮面の埃や砂をよく拭き取ってください。埃や砂が残っているとシーリング材や面を傷つけ、防水性が落ちる可能性があります。
- 石けん水、中性洗剤、アルコールまたは類似液体でカメラを洗淨しないでください。カメラの防水性が落ちる原因となります。
- 防水用シーリング材の経年変化により防水性能は低下します。

その他の注意

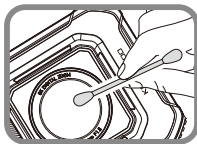
- 水中でカメラに水が入ったり、その他の問題が発生した場合、直ちに使用を中止し適切な処置を取ってください。処置方法は販売店またはケンコー・トキナーお客様相談室にお尋ねください。



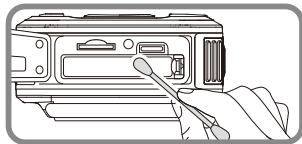
水道水で異物を
洗い流します。



真水に10分程度
浸します。



綿棒等で水滴を拭き
取ります。



乾燥後、電池蓋を開きます。



安全上のご注意 必ずお読みください。

防塵性能

- カメラの防塵性能はIP6Xです。

耐衝撃性能

- カメラの耐衝撃性能は、当社独自の基準
「高さ：1.5m、落下面：厚さ5cm合板」での落下テストをクリアしています。

防水／防塵、耐衝撃性能についてのご注意

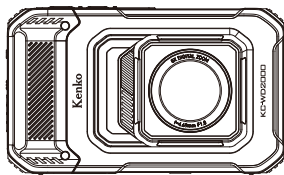
- ここに記載している防水/防塵、耐衝撃性能は、すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
- 本製品をぶつけたり落したり、本製品に重いものを載せたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。変形して気密性を失い、故障や浸水の原因になります。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保障の対象外です。



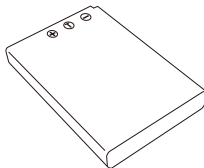
カメラの紹介

▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



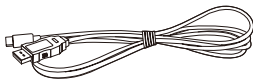
カメラ本体



リチウムイオン充電電池



ストラップ



USBケーブル
(Type-A to Type-C)



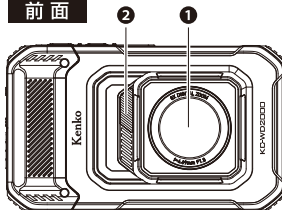
取扱説明書(本書)



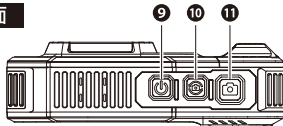
カメラの紹介

各部の名称

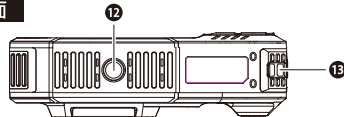
前面



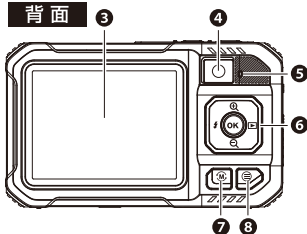
上面



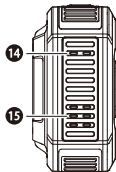
下面



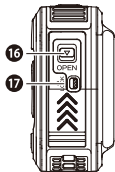
背面



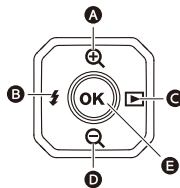
左側面



右側面



マルチ選択ボタン



- ① レンズ(フロント)
- ② 内蔵LEDフラッシュ/ライト
- ③ 液晶モニター
- ④ レンズ(リア)
- ⑤ LEDインジケータ
- ⑥ マルチ選択ボタン
- ⑦ モードボタン
- ⑧ メニューボタン
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ レンズ切替ボタン
- ⑪ シャッターボタン
- ⑫ 三脚取付穴
- ⑬ ストラップホール
- ⑭ マイク
- ⑮ スピーカー
- ⑯ 電池蓋
- ⑰ ロックボタン
- A 上ボタン
- B 左ボタン
- C 右ボタン
- D 下ボタン
- E OKボタン

※一部形状が異なる場合があります。



カメラの紹介

▶ ボタンの機能

ボタン	名 称	機 能
	電源ボタン	電源をオン／オフします。
	レンズ切替ボタン	レンズ(フロント・リア)を切替えます。
	シャッターボタン	押すと静止画/動画を撮影します。 再生・設定モード時、押すと撮影画面に移動します。



カメラの紹介

ボタン	名 称	機 能
	マルチ選択ボタン	上ボタン : 各項目・設定時に上へ移動します。 撮影時、ズームイン(拡大)します。 静止画再生時に押すと拡大表示します。 動画再生時に押すと音量が大きくなります。 下ボタン : 各項目・設定時に下へ移動します。 撮影時、ズームアウト(縮小)します。 静止画再生時に押すと縮小し、最後は16分割サムネイル表示されます。 動画再生時に押すと音量が小さくなります。 左ボタン : 各項目・設定時に左へ移動します。 撮影時、フラッシュ/ライトを設定します。 動画再生時、早戻しします。 右ボタン : 各項目・設定時に右へ移動します。 撮影時、再生モードに移動します。 動画再生時、早送りします。 OKボタン : 設定モード時に項目を決定します。 撮影時、1秒長押しすると撮影効果を変更します。 動画再生モード時、押すと再生を開始します。 再度押すと再生を一時停止します。
	モードボタン	モードを変更します。
	メニューボタン	各項目・設定を行います。 再生時、ファイルの操作を行います。



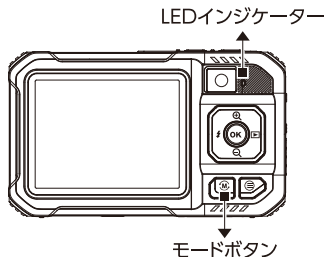
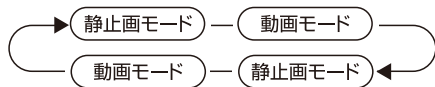
カメラの紹介

▶ LEDインジケータ表示

表示灯	色	説 明
LEDインジケータ	青色の点灯	起動時に1度点灯します。
	青色の点滅	動画撮影中です。
	赤色の点灯	充電中です。

▶ モードの変更

モードボタン **M** を押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モードに切り替わります。



※一部形状が異なる場合があります。

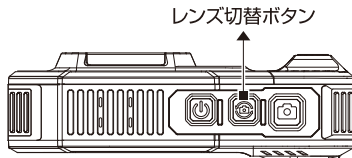


カメラの紹介

▶ フロントカメラ・リアカメラの切替(初期設定:フロントカメラ)

フロントカメラとリアカメラの切替えをします。

カメラ上面のレンズ切替ボタン  を押して
フロントカメラとリアカメラの切替えができます。





ご使用の前に

▶ 充電電池の取り付け

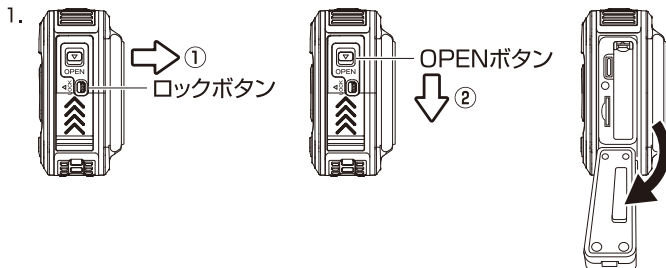
カメラに付属のリチウムイオン充電電池をセットします。

カメラに付属している充電電池以外は使用しないでください。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. ① カメラ右側面のロックボタンを前面方向に解除します。(ロックボタン：オレンジ表示)
- ② 電池蓋のOPENボタンを下面方向に引き下げ、電池蓋を開きます。

●次ページへ続く

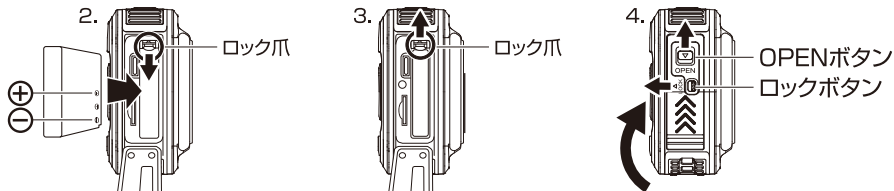




ご使用の前に

●前ページより続き

- 図を参考に⊕⊖方向を確認して、リチウムイオン充電電池をセットします。
ロック爪がカチッとハマるまで押し込みます。
- 充電電池を取り外す場合は、ロック爪を上(カメラ上面側)へスライドすると充電電池が少し飛び出します。
- 電池蓋をしっかりと閉じ、OPENボタンを上方向に引き上げます。
最後にロックボタンを「LOCK」と刻印されている方向にスライドします。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は⊕⊖方向に注意し、接点が右奥になるように正しくセットしてください。



- ◆ ロックボタン・ロック爪の操作をする際、指や爪のケガにご注意ください。



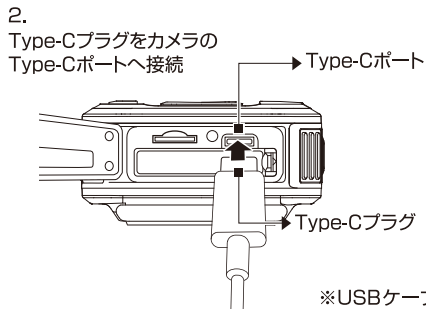
ご使用の前に

充電電池の充電

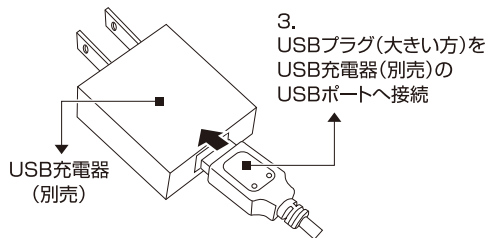
充電電池の充電は、付属のUSBケーブルを使用して行います。

カメラに充電電池を取り付けます。P.22「充電電池の取り付け」をご覧ください。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 付属のUSBケーブルのType-Cプラグ(小さい方)をカメラのType-Cポートに接続します。
3. もう一方のUSBプラグ(大きい方)を、
USB充電器(別売:Type-A出力、1ポートDC5V 2A以下)のUSBポートに接続します。
4. カメラの赤色LEDランプが点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。



●次ページへ続く



※USBケーブルは付属のものや当社推奨のもの以外使用しないでください。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

  電池の残量は充分です。

 (赤)充電してください。

- 電池残量表示は目安になります。
- 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- ご購入時、電池は充電されておりませんので、はじめてご使用になる時はフル充電をしてからお使いください。
- 電池は3カ月に1回を目安に充電してください。



ご使用の前に

▶ リチウムイオン充電機に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電機使用カメラ)



警告 付属のリチウムイオン充電機をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向のセットはしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電機をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、
安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion00

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <https://www.bai.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

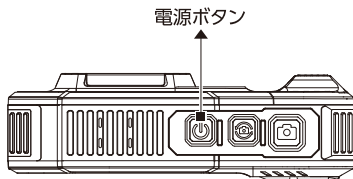
- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



ご使用の前に

電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。
液晶モニターが点灯します。
再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになり
液晶モニターが消灯します。



ストラップの取り付け

右の図を参考にして、
ストラップ取付穴に付属のストラップを取り付けてください。





ご使用の前に

microSDHC/SDXCメモリーカード(別売)を使用する

(以下microSDメモリーカードと表記します)

本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード(別売)を電池蓋内のmicroSDメモリーカードスロットにセットしてください。

動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。



図はmicroSDメモリーカードのイメージ図です。



- ◆ このカメラに使用できるmicroSDメモリーカードの仕様は、microSDHCメモリーカード：4～32GB(別売) microSDXCメモリーカード：64～256GB(別売)までです。

その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。



ご使用の前に

microSDメモリーカードを使用する前に



- ◆ 新しいmicroSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆ microSDメモリーカードをセットすると、カメラはmicroSDメモリーカードを認識します。
- ◆ この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.7～15に記載されていますので、必ずよくお読みください。
 - パソコンにカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - 本製品にはmicroSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
- ◆ 次ページの注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ご使用の前に

》ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでmicroSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- microSDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動などの障害が起こる恐れがあります。
- microSDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われる事があります。記録されたデータの破損・消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- microSDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやUSBメモリーにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電池室内の電極接点部が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な綿棒などで軽く拭き取ってください。



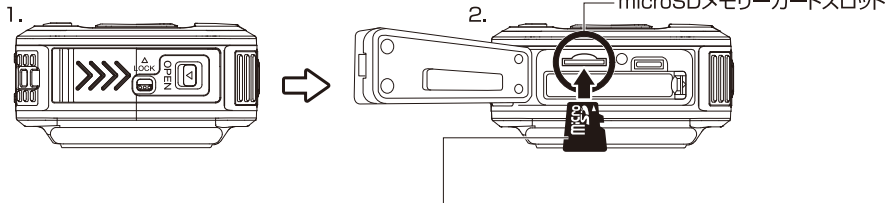
ご使用の前に

microSDメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ右側面にある電池蓋内のmicroSDメモリーカードスロットにセットしてください。

1. 電池蓋を開けます。P.22「充電池の取り付け」をご覧ください。
2. microSDメモリーカードの接触面がレンズ側になるようにして、microSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. microSDメモリーカードを取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

●次ページへ続く



取付時は、microSDメモリーカードの接触面が本機のレンズ側になるように挿入します。
取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
microSDメモリーカードが少し飛び出ます。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット(P.33参照)をしてください。
- 撮影画像に付けられるファイル名(DSCFXXXX)は、microSDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラでフォーマット(P.33参照)してください。



- ◆ 差し込みにくい時は、挿入方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆ microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
推奨するmicroSDメモリーカードは、弊社のホームページを参照してください。
- ◆ 他のカメラなどのファイルが保存されているmicroSDメモリーカードをセットすると、誤作動を起す場合があります。



ご使用の前に

microSDメモリーカードのフォーマット

microSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。



- ◆ microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- ◆ フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- ◆ microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- ◆ 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- ◆ フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやUSBメモリーにコピーしてください。

●次ページへ続く

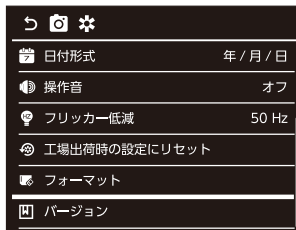


ご使用の前に

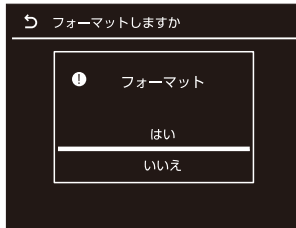
●前ページより続き

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタン (≡) を押し、
右ボタンを1回押して「設定モード *」にします。
上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、
OKボタン (OK) を押します。
3. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
OKボタン (OK) を押して決定します。
はい : microSDメモリーカードのフォーマットをします。
いいえ : フォーマットしません。
4. 設定画面に戻ります。
5. メニューボタン (≡) を押すと撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆ フォーマットすると全てのデータが消去されますのでご注意ください。
プロテクト(保護)されたデータも消去されます。
- ◆ 消去されたデータ(画像など)は元に戻りませんのでご注意ください。



ご使用の前に

日時の設定

カメラをご使用の前に、日時の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタン (≡) を押し、右ボタンを1回押して「設定モード *」にします。
上または下ボタンを押して「日時設定」を選択し、
OKボタン (OK) を押します。
3. 日時の設定を行います。
右または左ボタンを押して設定する項目(例えば年→月)に移動します。
選択されている項目は黄色枠表示されます。
4. 上または下ボタンで数値を調整します。
5. すべての数値の調整が終わりましたら、
OKボタン (OK) を押して決定します。
設定画面に戻ります。
6. メニューボタン (≡) を押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆ 日付/時刻は静止画・動画共にファイルデータとして記録されますのでできるだけ正確に設定してください。
- ◆ 日付/時刻は初期設定(全てリセット)すると工場出荷時の数値に戻ります。



ご使用の前に

▶ 言語の設定（初期設定：日本語）

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタン (≡) を押し、右ボタンを1回押して「設定モード *」にします。
上または下ボタンを押して「言語」を選択し、OKボタン (OK) を押します。
3. 上または下ボタンを押して、使用する言語を選択し、
OKボタン (OK) を押して決定します。
4. 設定画面に戻ります。
5. メニューボタン (≡) を押すと撮影画面に戻ります。

2.



3.

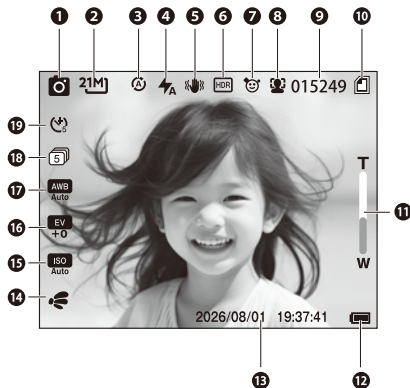


- 10の言語に対応しています。
- リセットすると言語は日本語が表示されます。



静止画モード

静止画撮影モードの 液晶モニター表示



1		現在の撮影モード(静止画モード)を表示します。P.38参照
2		画像サイズ 現在の静止画サイズを表示しています。P.44参照
3		モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.43参照
4		内蔵LEDフラッシュ オートフラッシュ、強制フラッシュ、フラッシュオフを表示します。P.40参照
5		手振れ軽減 手振れの軽減の有効／無効を表示しています。P.58参照
6		HDR HDRの有効／無効を表示しています。P.49参照
7		美肌 美肌モードを選択していることを表示しています。P.48参照
8		顔検出 顔検出の有効／無効を表示しています。P.59参照
9	015249	静止画記録可能枚数
10		メモリーカード挿入を表示しています。P.31参照
11		ズームインジケーター ズーム領域表示します。P.39参照
12		電池残容量 電池残量を表示します。P.25参照
13		日時設定 静止画に日時を表示します。P.80参照
14		効果 撮影する静止画に各種の効果を加えます。P.56参照
15		ISO 現在のISO感度を表示しています。P.54参照
16		露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.50参照
17		ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.51参照
18		連続撮影 P.47参照
19		セルフタイマー P.46参照



静止画モード

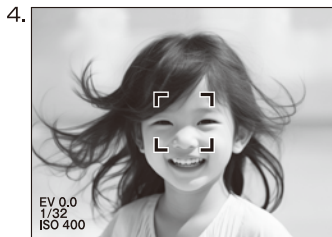
静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン **M** を押して「静止画モード 」にします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. カメラをしっかり構えてシャッターボタン  を半押しします。
オートフォーカス機能で液晶モニター中央の  アイコンが
白色から緑色に変わるとピントが合います。
5. シャッターボタン  を完全に押し込んで撮影します。
(シャッターボタン  を押した後に
LEDインジケーターが点灯→消灯します。)



- 被写体周辺の光量が不足している場合、手ぶれにご注意ください。
内蔵LEDフラッシュまたは三脚などの使用をおすすめします。





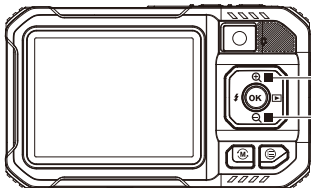
静止画モード

ズーム撮影

本製品は8倍のデジタルズームが搭載されています。

上ボタン  を押すと、ズームイン(拡大)します。

下ボタン  を押すと、ズームアウト(縮小)します。



上ボタン／ズームインボタン

下ボタン／ズームアウトボタン



- ズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。



静止画モード

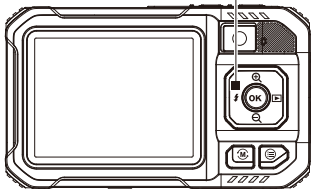
内蔵LEDフラッシュの設定

内蔵LEDフラッシュを設定します。

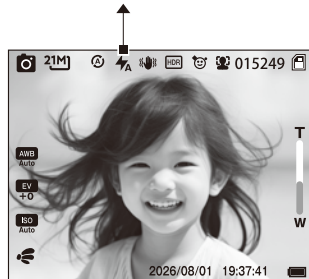
左ボタン  を押すと

オートフラッシュ、強制フラッシュ、フラッシュオフに切り替わります。

左ボタン／内蔵LEDフラッシュボタン



内蔵LEDフラッシュアイコン



- 内蔵LEDフラッシュは静止画撮影のみ設定できます。
- 動画撮影ではLEDライト点灯、LEDライトオフを選択できます。
- USB充電器を接続している時は、フラッシュ機能を使用できません。



静止画モード

画面表示の設定

画面表示を設定します。

撮影時、撮影情報が表示されます。

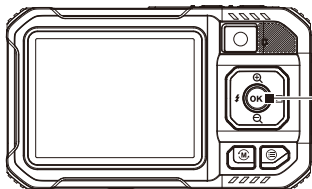
OKボタン **OK** を押すごとに、

情報表示あり→情報表示なし→グリッド表示→情報表示ありと切り替わります。

再生時、再生アイコンと撮影情報が表示されます。

OKボタン **OK** を長押しするごとに、

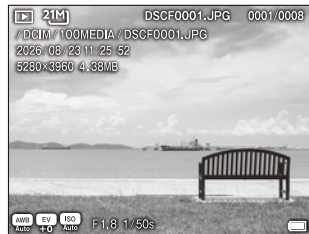
情報表示あり→詳細表示あり→情報表示なし→情報表示ありと切り替わります。



→ OKボタン



撮影時 グリッド表示



再生時 詳細表示あり

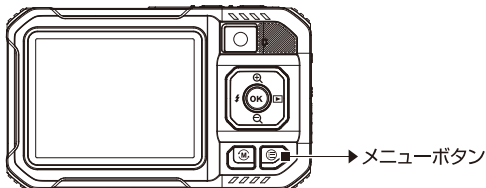


静止画モード

▶ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して項目を選択し、OKボタン (OK) を押して、サブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
4. 撮影メニューに戻ります。
5. メニューボタン (≡) を押して静止画撮影モードに戻ります。





静止画モード

❧ モード設定 (初期設定: オート)

静止画撮影モードを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「モード設定」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

オート : 本機の機能をフルに活用します。

ポートレート: 人物(ポートレート)の撮影に適しています。

夜景 : 暗い場所での撮影に適しています。

風景 : 距離を無限遠に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。

スポーツ : 動きの速い被写体の撮影に適しています。

パーティー : 室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。

ビーチ : 浜辺の強い日差しのもとでの撮影に適しています。

水中 : 水中撮影に適しています。

マクロ : 接写撮影に適しています。

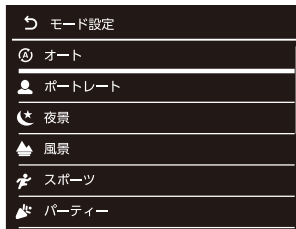
逆光 : 逆光撮影で暗く写るのを防ぎます。

CALS : 公共建設工事等の電子納品に適した写真を撮影します。

2.



3.



● すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。



静止画モード

》 画像サイズ (初期設定: 21M)

画像サイズを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「画像サイズ」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

21M※: 5280×3960

18M※: 4896×3672

15M※: 4480×3360

12M : 4000×3000

8M : 3264×2448

5M : 2592×1944

2M : 1600×1200

1M : 1280×960

※リアカメラ使用時は補間です。

2.



3.



- 補間とは、ある既知の数値データを基にして、既知データ間の値を埋めるものです。
- サイズが大きいくほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

》 アスペクト比 (初期設定: 4:3)

アスペクト比を設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「アスペクト比」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

4:3

3:2

16:9

2.35:1

1:1

5:4

4:5

2.



3.



● 静止画のみの機能です。



静止画モード

☞ セルフタイマー（初期設定：オフ）

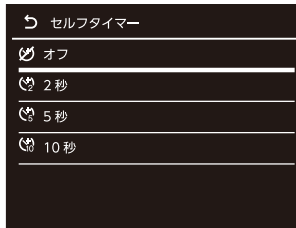
セルフタイマーを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「セルフタイマー」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
オフ : セルフタイマーを設定しません。
2枚 : シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
5枚 : シャッターボタンを押してから約5秒後に撮影します。
10枚 : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。

2.



3.



● 静止画のみの機能です。



静止画モード

》 連続撮影（初期設定：オフ）

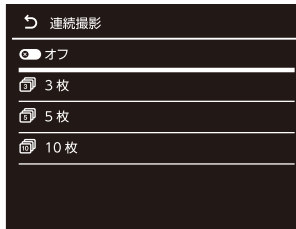
連続撮影枚数を設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「連続撮影」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
オフ：連続撮影を設定しません。
3枚：シャッターボタンを押すと3枚連続撮影します。
5枚：シャッターボタンを押すと5枚連続撮影します。
10枚：シャッターボタンを押すと10枚連続撮影します。

2.



3.



● 静止画のみの機能です。



静止画モード

美肌 (初期設定: オフ)

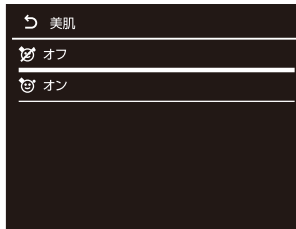
美肌モードを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「美肌」を選択し、
OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
オフ: 美肌モードを無効にします。
オン: 美肌モードを有効にします。

2.



3.



- 美肌モードをオンにすると効果(白黒、セピアなど)の設定がノーマルに変更され、顔検出がオンになります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

HDR (初期設定: オフ)

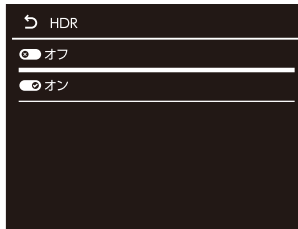
HDRモードを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「HDR」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
オフ: HDRモードを無効にします。
オン: HDRモードを有効にします。

2.



3.



- HDRをオンにすると、ISO感度はオートに固定されます。



静止画モード

⏏ 露出 (初期設定: 0.0)

手動で露出値を変更する場合に使用します。

被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+ (明るく) 補正し、

明るすぎる場合には- (暗く) 補正します。

露出値は、-3.0 ~ +3.0 (1EVステップ) の間で調整することができます。

1. メニューボタン (⏏) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「露出」を選択し、
OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. 上 / 下または右 / 左ボタンを押して補正值を選択し、
OKボタン (OK) を押します。





静止画モード

☞ ホワイトバランス (初期設定: オート)

様々な被写体周辺の状況に応じて

ホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

オート : 自動で調整します。

昼光 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り : 屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

蛍光灯 : 屋内の蛍光灯下での撮影に適しています。

電球 : 屋内の白熱灯下での撮影に適しています。

2.



3.





静止画モード

画質（初期設定：スーパーファイン）

撮影する静止画の画質を設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「画質」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

スーパーファイン：最高画質

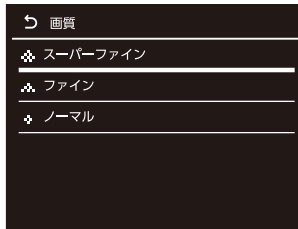
ファイン：高画質

ノーマル：標準画質

2.



3.



- 高画質なほど鮮明ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

シャープネス (初期設定: ノーマル)

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シャープネス」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

シャープ：シャープな画質になります。

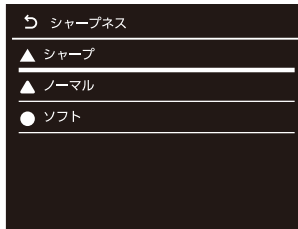
ノーマル：標準画質になります。

ソフト：ソフトな画質になります。

2.



3.





静止画モード

ISO感度 (初期設定: オート)

撮影時の感度を設定します。

感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. メニューボタン (⌂) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「ISO感度」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

●次ページへ続く

2.



3.



● ISO感度をオート以外に設定すると、HDRはオフに固定されます。



静止画モード

●前ページより続き

3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

オート : 自動で調整します。

ISO100 : 屋外の晴天時の撮影に適しています。

ISO200 : 屋外の曇天時、
または明るい室内での撮影に適しています。

ISO400 : 屋外の曇天時、または光量が少ない室内で
LEDフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。

ISO800 : 光量が少ない状況下で、
LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO1600 : 光量が少ない状況下で、
LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO3200 : 極端に光量が少ない状況下で、
LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO6400 : 極端に光量が少ない状況下で、
LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。



● 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。

● 静止画のみの機能です。



静止画モード

効果 (初期設定: ノーマル)

撮影する静止画に効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「効果」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

- ノーマル : 効果を加えません。
- ナチュラル : ナチュラルな画像にします。
- 白黒 : 白黒画像にします。
- セピア : セピア画像にします。
- 夕日 : 夕焼けのような効果を加えます。
- 暖色 : 温かみのある効果を加えます。
- 寒色 : 青みを帯びた効果を加えます。
- ライトオレンジ : 淡く温かみのある効果を加えます。
- ライトブルー : 淡く青みを帯びた効果を加えます。
- 露出オーバー : 露出をプラス補正した効果を加えます。
- IR : 赤外線撮影風の効果を加えます。

2.



3.



●次ページへ続く



静止画モード

●前ページより続き

バイナリ : 白黒2値での画像にします。

ビビッド : 色彩を強調した画像にします。

ビンテージ : ビンテージ風の効果を加えます。

コントラスト(H) : メリハリのある陰影のはっきりした画像にします。

ネガ : ネガフィルムのような画像にします。

※静止画モード中、OKボタン (OK) を長押しすることでも効果を選択できます。



静止画モード

手ぶれ軽減 (初期設定: オン)

静止画撮影時の手ぶれを軽減します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「手振れ軽減」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

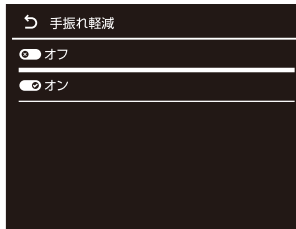
オフ: 手振れ軽減を無効にします。

オン: 手振れ軽減を有効にします。

2.



3.





静止画モード

顔検出 (初期設定: オン)

顔を認識します。

顔検出をオンにすると、ピント合わせの時に優先的に顔に合わせます。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「顔検出」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

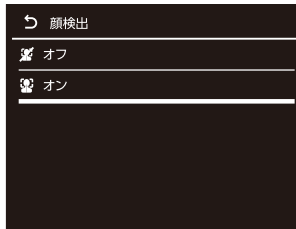
オフ: 顔検出を無効にします。

オン: 顔検出を有効にします。

2.



3.



- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

》 C-AF (初期設定: オン)

常に被写体に対して大まかにピントを合わせる機能です。

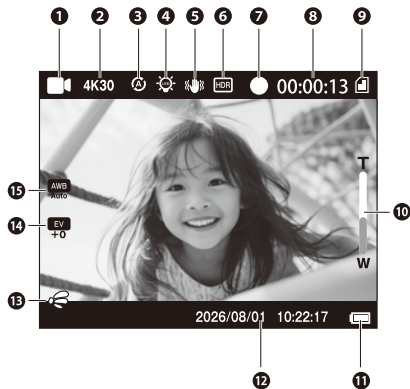
1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「C-AF」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
オフ: C-AFを無効にします。
オン: C-AFを有効にします。





動画モード

▶ 動画撮影モードの 液晶モニター表示



①	現在の撮影モード(動画モード)を表示します。P.62参照
②	4K30 ビデオサイズ 現在の動画サイズ設定を表示しています。P.65参照
③	モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.64参照
④	内蔵LEDライト LEDライト点灯、LEDライトオフを表示します。P.63参照
⑤	手振れ軽減 手振れの軽減の有効／無効を表示しています。P.66参照
⑥	HDR HDRの有効／無効を表示しています。P.66参照
⑦	動画撮影中
⑧	00:00:13 動画撮影可能時間
⑨	メモリーカード挿入を表示しています。P.31参照
⑩	ズームインジケーター ズーム領域表示します。P.63参照
⑪	電池残容量 電池残量を表示します。P.25参照
⑫	日時設定 日時設定 動画に日時を表示します。P.80参照
⑬	効果 撮影する動画に各種の効果を加えます。P.66参照
⑭	露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.66参照
⑮	ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.66参照



動画モード

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン **M** を押して「動画モード 」にします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタン  を押して撮影を開始します。
液晶モニターに動画撮影中アイコン  が点滅します。
5. シャッターボタン  を押すと撮影を終了し、
撮影画面に戻ります。



- メモリー残量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
- 動画撮影中は、省電力機能は作動しません。
- 1ファイルの最大容量は4GBです。容量を超えた場合は動画の撮影は終了せず、新しいファイルが作成され保存されます。
- 1ファイルあたりの最大撮影時間は45分です。45分を超えた場合は動画の撮影は終了せず、新しいファイルが作成され保存されます。



動画モード

▶ ズーム撮影

P.39「ズーム撮影」(静止画モード)をご覧ください。

▶ 内蔵LEDライト

動画撮影モード時、左ボタンを押すとLEDライト点灯、LEDライトオフに切り替わります。
詳細な設定方法は、P.40「内蔵LEDフラッシュの設定」をご覧ください。

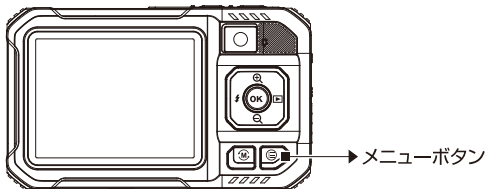


動画モード

▶ 動画撮影メニュー

動画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して項目を選択し、OKボタン (OK) を押して、サブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
4. 撮影メニューに戻ります。
5. メニューボタン (≡) を押して動画撮影モードに戻ります。



▶▶ モード設定 (初期設定: オート)

P.43「モード設定」(静止画モード)をご覧ください。



設定により表示されるアイコンは異なります。



動画モード

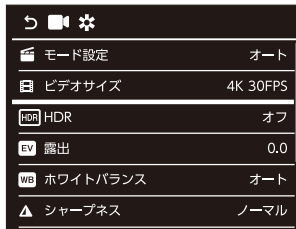
▶▶ ビデオサイズ (初期設定: 4K30fps)

撮影する動画サイズを設定します。

1. メニューボタン (≡) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「ビデオサイズ」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
3. いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。

5K30fps(補間): 5120×2880
 4K30fps : 3840×2160
 2.7K60fps : 2688×1520
 2.7K30fps : 2688×1520
 FHD60fps : 1920×1080
 FHD30fps : 1920×1080
 HD60fps : 1280×720
 HD30fps : 1280×720

2.



3.



- 補間とは、ある既知の数値データを基にして、既知データ間の値を埋めるものです。
- サイズが大きいくほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影時間が少なくなります。
- 手振れ軽減がオンの時、5K30fpsを選択できません。
- HDRモードがオンの時、フレームレート60fpsのビデオサイズを選択できません。



動画モード

▶▶ HDR (初期設定: オフ)

P.49「HDR」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 露出 (初期設定: 0.0)

P.50「露出」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ ホワイトバランス (初期設定: オート)

P.51「ホワイトバランス」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ シャープネス (初期設定: ノーマル)

P.53「シャープネス」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 効果 (初期設定: ノーマル)

P.56「効果」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 手ぶれ軽減 (初期設定: オン)

P.58「手ぶれ軽減」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ C-AF (初期設定: オン)

P.60「C-AF」(静止画モード)をご覧ください。



再生モード

再生モード

最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。

液晶モニター左上に、静止画ファイルは アイコン、動画ファイルは アイコンが表示されます。

右または左ボタンを押して再生するファイルを選択します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. マルチ選択ボタンの右ボタン を押して「再生モード」にします。
3. 左または右ボタンを押して再生したいファイルを選択します。

静止画ファイルアイコン



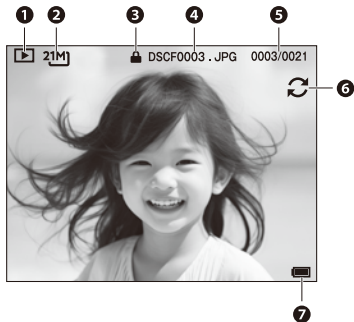
動画ファイルアイコン





再生モード

▶ 静止画再生モードの液晶モニター表示



- | | |
|---|---------------------------------|
| ① | ▶ 現在の再生モード(静止画)を表示します。 |
| ② | 21M 静止画サイズ 撮影された静止画サイズを表示しています。 |
| ③ | 🔒 保護 選択されたファイルを保護します。P.75参照 |
| ④ | DSCF0003.JPG ファイル名 |
| ⑤ | 0003/0021 ファイル番号／全ファイル数 |
| ⑥ | 🔄 スライドショーアイコン |
| ⑦ | 🔋 電池残容量 電池残量を表示します。 |



再生モード

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. マルチ選択ボタンの上ボタン **+** を押すと拡大表示、
下ボタン **-** を押すと縮小表示します。
液晶モニター左下にズームアイコン **Q → 回** が表示されます。
3. OKボタン **OK** を押します。
上／下または左／右ボタンを押して、
拡大表示範囲を移動します。
4. 再度、OKボタン **OK** を押すと拡大・縮小表示に戻ります。
5. モードボタン **M** を押すと通常表示に戻ります。



● 静止画ファイルのみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

16分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

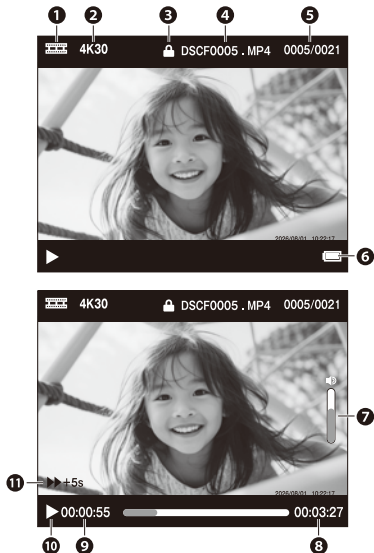
1. 静止画ファイルを表示します。
2. マルチ選択ボタンの下ボタン  を押すと、
16分割のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、
ファイルの選択(赤枠)を移動します。
4. OKボタン  を押すと、
選択したファイルが全画面表示になります。
または、モードボタン  を押すと通常表示に戻ります。





再生モード

▶ 動画再生モードの液晶モニター表示



①	現在の再生モード(動画)を表示します。
②	4K30 動画サイズ 撮影された動画サイズを表示しています。
③	保護 選択されたファイルを保護します。P.75参照
④	DSCF0005.MP4 ファイル名
⑤	0005/0021 ファイル番号／全ファイル数
⑥	電池残容量 電池残量を表示します。
⑦	音量
⑧	00:03:27 動画ファイルの長さ
⑨	00:00:55 動画再生時間
⑩	動画再生／一時停止アイコン ※OKボタンを押すと動画再生／一時停止します。
⑪	+5s 早送り／早戻し



再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 動画ファイルを表示します。
2. OKボタン (OK) を押すと再生を開始します。
3. マルチ操作ボタンの上ボタンを押すと、音量が大きくなります。
下ボタンを押すと、音量が小さくなります。
4. 再生中、OKボタン (OK) を押すと一時停止します。
再度、OKボタン (OK) を押すと再生開始します。
5. 再生中、右ボタンを一度押すと5秒早送り再生し、
長押しすると連続早送り再生します。
左ボタンを一度押すと5秒早戻し再生し、
長押しすると連続早戻し再生します。
6. モードボタン (M) を押すと再生を停止し、ファイルの先頭部分に戻ります。



動画再生中



再生モード

再生メニュー

再生メニューモードの様々な設定を行います。

1. マルチ選択ボタンの右ボタン  を押して「再生モード」にします。
最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。
2. 左または右ボタンを押して、再生メニューで設定するファイルを選択します。
3. メニューボタン  を押し、再生メニューを表示します。
4. 上／下または右／左ボタンを押して項目を選択し、
OKボタン  を押して、サブメニューを表示します。



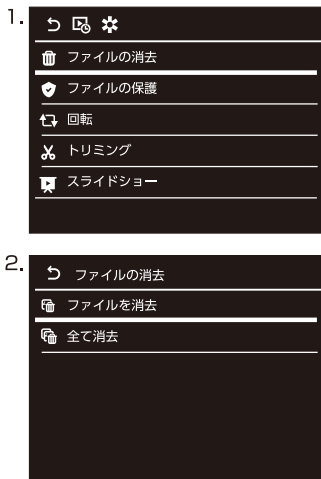


再生モード

消去

記録したファイルを消去します。

1. 「ファイルの消去」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
2. 下記いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
ファイルを消去
全て消去
3. 下記いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
「はい」を選択すると消去します。
「いいえ」を選択すると消去されず、再生モードに戻ります。



- 消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
- 保護されている記録ファイルは消去されません。

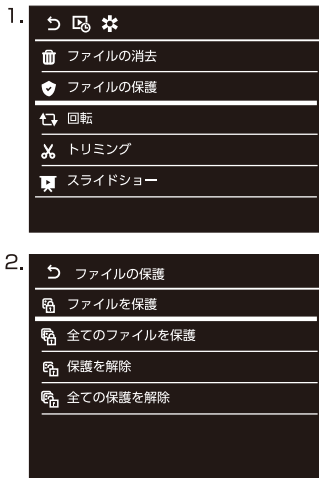


再生モード

保護

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

1. 「ファイルの保護」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
2. 下記いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
 - ファイルを保護 : 表示されたファイルを保護します。
 - 全てのファイルを保護 : 全てのファイルを保護します。
 - 保護を解除 : 保護されたファイルの保護を解除します。
 - 全ての保護を解除 : 保護された全てのファイルの保護を解除します。



- 保護されたファイルには液晶モニターに「」アイコンが表示されます。
- フォーマットすると保護されたファイルも消去されます。

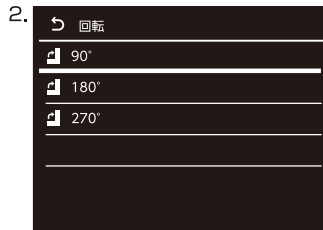


再生モード

回転

液晶モニターに表示中のファイルを回転します。

1. 「回転」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
2. 下記いずれかを選択し、OKボタン (OK) を押します。
 - 90° : ファイルを時計回りに90°回転します。
 - 180° : ファイルを時計回りに180°回転します。
 - 270° : ファイルを時計回りに270°回転します。



- 回転を完了すると、回転された静止画ファイルが新規作成されます。
- 回転した静止画ファイルは、最大5Mの画像サイズにリサイズされます。
- 静止画のみの機能です。



再生モード

トリミング

液晶モニターに表示中のファイルをトリミングします。

1. 「トリミング」を選択し、OKボタン (OK) を押してサブメニューを表示します。
2. 「トリミング」を選択し、OKボタン (OK) を押します。
3. 上または下ボタンを押して、トリミングするフレームサイズを設定します。
4. シャッターボタン (Q) を一度押し、上／下または右／左ボタンを押してトリミングする領域を設定します。
5. 設定が完了したら、OKボタン (OK) を押します。



- トリミングを完了すると、トリミングされた静止画ファイルが新規作成されます。
- トリミングした静止画ファイルは、最大5Mの画像サイズにリサイズされます。
- 保護されている記録ファイルはトリミングされません。
- 静止画のみの機能です。



再生モード

スライドショー

microSDメモリーカードに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 「スライドショー」を選択し、OKボタン **(OK)** を押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタン **(OK)** を押します。
3秒：ファイルの表示間隔を3秒に設定します。
5秒：ファイルの表示間隔を5秒に設定します。
3. スライドショーを開始します。
スライドショー中にメニューボタン **(≡)** を押すと、スライドショーを終了します。



● 静止画のみの機能です。動画は表示しません。



設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタン (≡) を押し、
右ボタンを1回押して「設定モード *」にします。
3. 上／下または右／左ボタンを押して各項目を選択し、
サブメニューを表示します。

言語 (初期設定：日本語)

P.36「言語の設定」をご覧ください。

日時

P.35「日時の設定」をご覧ください。

2.



3.



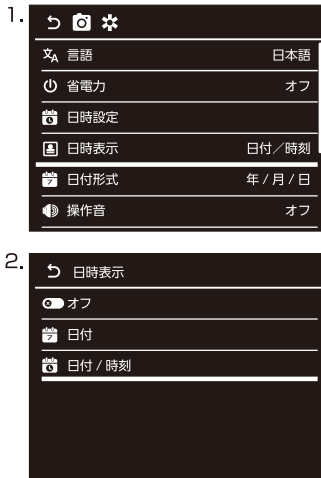


設定モード

日時表示(初期設定: 日付／時刻)

撮影時、及び記録ファイルに日時を表示する設定を行います。

1. 「日時表示」を選択し、
OKボタン **OK** を押してサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタン **OK** を押して決定します。
オフ : 日付/時刻を表示しません。
日付 : 撮影時、及び記録ファイルに日付を表示します。
日付／時刻 : 撮影時、及び記録ファイルに日付/時刻を表示します。
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

日付形式(初期設定:年/月/日)

日時設定の表示順を設定します。

1. 「日付形式」を選択し、
OKボタン **OK** を押してサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタン **OK** を押して決定します。
年/月/日: 年/月/日の順で表示します。
月/日/年: 月/日/年の順で表示します。
日/月/年: 日/月/年の順で表示します。
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

省電力(初期設定: オフ)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1. 「省電力」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタン **OK** を押して決定します。
オフ: 自動的にオフしません。
1分: 1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3分: 3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
5分: 5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

操作音 (初期設定: 中)

カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. 「操作音」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタン **OK** を押して決定します。
オフ: 操作音を無効にします。
小
中
大
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

フリッカー低減(初期設定: 50Hz)

撮影地域によって、正しい電源周波数を選択し、
蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「フリッカー低減」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタン (OK) を押して決定します。
50Hz: 主に東日本
60Hz: 主に西日本
3. 設定モード画面に戻ります。



- 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



設定モード

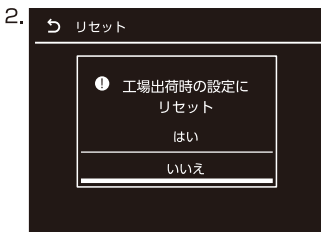
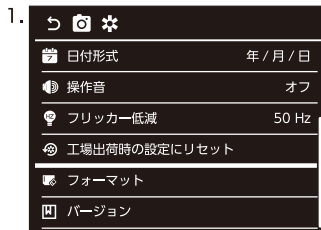
フォーマット

メモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。
P.33「microSDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

リセット

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. 「工場出荷時の設定にリセット」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタン (OK) を押して決定します。
はい : 初期設定に戻します。
いいえ : 初期設定に戻しません。
3. 設定モードに戻ります。



- リセットすると日付／時刻もリセットされます。
- リセットすると、カメラの言語表示が日本語に戻ります。



パソコンとの接続

▶ パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源をオンにします。

付属USBケーブルのUSBプラグ(大きい方)をパソコンに接続し、Type-Cプラグ(小さい方)をカメラに接続します。

▶ モード設定

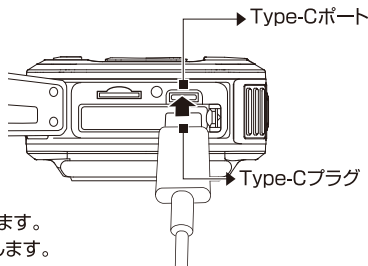
パソコンと接続するモードを選択します。

1. 液晶モニターに「MSDC」「PC Camera」「充電のみ」が表示されます。
上または下ボタンを押していずれかを選択し、OKボタン **OK** を押します。



●次ページに続く

Type-Cプラグをカメラの
Type-Cポートへ接続



USBプラグ(大きい方)を
パソコンへ接続

※一部形状が異なる場合があります。



パソコンとの接続

●前ページより続き

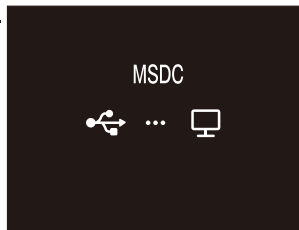
MSDC

パソコンと接続し、カメラの記録ファイルをパソコンで確認したりパソコンに取り込むためのものです。

1. カメラの液晶モニターにUSB接続のアイコンが表示されます。
〈Windowsで使用する場合〉
● PCに「USBドライブ」として認識されます。
2. Windowsの場合、記録ファイルは、
「PC」→「USBドライブ」→「DCIM」→「100MEDIA」などにあります。
3. 終了する場合は、各OSに適した方法で
安全に付属のUSBケーブルを外してください。

●次ページに続く

1.



パソコン接続中の液晶画面表示



パソコンとの接続

●前ページより続き

》データの保存

〈Windowsで使用する場合〉

本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、「PC」に「USBドライブ」として認識されますのでカメラのデータをパソコンに取り込むことができます。

〈スマホで使用する場合〉

- USB OTG対応ケーブル(別売:Type-C to Type-C)を使ってスマホとカメラを接続すると、「ファイル」アプリからmicroSDカードのフォルダを開きデータを取り込むことができます。
 - 取り外す際は、ご使用の機種に適した方法で安全に取り外してください。
- ※すべてのスマホとの接続を保証するものではありません。



● お使いのパソコンやスマホのOS・バージョン等により表示は異なります。



パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ◆ [USBドライブ] からコピーしている際（画像取り込み時）は、USBケーブル、メモリーカードを絶対に抜かないでください。メモリーカードが破損する恐れがあります。
- ◆ [USBドライブ] 内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- ◆ [USBドライブ] 内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。
カメラの動作が不安定な原因になります。
- ◆ [USBドライブ] をパソコンでフォーマットしないでください。
- ◆ [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを消去してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

ファイル名について

ファイル名は「DSCF」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。ファイル番号が9999を越える場合、新しいフォルダが作成されます。

- ◆ パソコン上でメモリーカード内のフォルダ名及びファイル名を変更しないでください。
カメラでファイルを再生できない可能性があります。



パソコンとの接続

▶ PC Camera

パソコンと接続してWEBカメラとしても使用できます。
はじめにデータ保護のため、microSDメモリーカードを取り外してください。

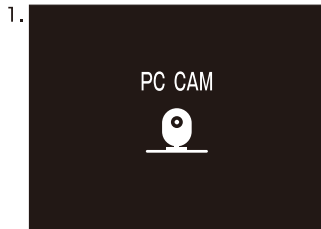
※例:Windows11の場合

1. カメラとPCを付属USBケーブルで接続します。
電源ボタンを押します。
「PC Camera」を選択してOKボタンを押します。
液晶モニターが右図のようになります。
2. Windowsのスタートボタンをクリックし、
「カメラ」アプリを起動します。
アプリ画面右上のカメラの変更アイコン(丸枠内)で
「USB CAMERA」に切り替えます。
3. 「カメラ」アプリ上に本機の画像が表示されます。
4. WEBカメラを終了するにはそのままUSBケーブルを外します。

▶ 充電のみ

パソコンと接続してカメラを充電できます。

1. カメラとPCを付属USBケーブルで接続します。
電源ボタンを押します。「充電のみ」を選択してOKボタン  を押します。
2. パソコンと接続することなく、充電を継続します。



パソコン接続中の液晶画面表示



設定により表示されるアイコンは異なります。



故障かな?と思ったら

[症状] 電源が入らない

[原因] 充電電池の取り付け方向が間違っている可能性があります。

[対策] 充電電池の ⊕ ⊖ を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.22参照)

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.24参照)

[症状] 電池またはカメラが熱を持っている

[原因] カメラの連続使用または内蔵LEDライトによるもので異常ではありません。

[症状] 電源を入れるとすぐ切れる

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.24参照)

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] シャッターボタンが完全に押されていない可能性があります。

[対策] シャッターボタンを完全に押し込んでください。

[原因] microSDメモリーカードの容量がいっぱいになっている可能性があります。

[対策] 新しいmicroSDメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.74参照)



故障かな?と思ったら

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] microSDメモリーカードが正しくフォーマットされていない可能性があります。

[対策] フォーマットできない場合、microSDメモリーカードを交換してください。

[症状] ピントが合わない

[原因] レンズが汚れている可能性があります。

[対策] レンズペーパーか柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。

[症状] ファイルが消去できない

[原因] ファイルが保護されている可能性があります。

[対策] 保護を解除してください。(P.75参照)

[症状] ファイルをダウンロードできない

[原因] お使いのパソコンのハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

[対策] パソコンのハードディスクの空き容量をご確認ください。

[原因] カメラの電源が入っていない可能性があります。

[対策] カメラの電源を入れてください。



記録可能枚数／時間の目安

静止画

microSDHCメモリーカード32GB スピードクラス10の場合			
静止画サイズ	画 質		
	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
21M	6517	13087	20860
18M	7139	14266	23222
15M	8262	15920	25256
12M	10352	19488	29223
8M	14184	30622	44630
5M	21490	40000	64128
2M	47690	104918	120754
1M	74245	131687	151658

※アスペクト比=4:3の場合。



記録可能枚数／時間の目安

📺 動画

microSDHCメモリーカード32GB スピードクラス10の場合	
動画サイズ	記録可能時間
5K 30fps(補間)	約140分
4K 30fps	約8時間
2.7K 60fps	約11時間
2.7K 30fps	約11時間
FHD 60fps	約11.5時間
FHD 30fps	約12時間
HD 60fps	約18時間
HD 30fps	約20.5時間



- 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差がでます。静止画・動画ともに目安としてご参考ください。
- 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。
- 1ファイルの最大容量は4GBです。容量を超えた場合は動画の撮影は終了せず、新しいファイルが作成され保存されます。
- 1ファイルあたりの最大撮影時間は45分です。45分を超えた場合は動画の撮影は終了せず、新しいファイルが作成され保存されます。



仕様

仕様

イメージセンサー	(フロント) 1/2.4型CMOS	(リア) 1/3.2型CMOS
総画素数	(フロント) 2224万画素	(リア) 1313万画素
有効画素数	(フロント) 約2100万画素	(リア) 約1300万画素
レンズ	(フロント) f=4.69 mm F1.8	(リア) f=3.66 mm F2.2
焦点距離 (35mmフィルム換算)	(フロント) 27mm	(リア) 27mm
ズーム	デジタル8倍	
撮影距離	(フロント) 0.18m~∞	(リア) 0.5m~1.2m
液晶モニター	2.8型 IPS	
外部メモリー※	microSDHCメモリーカード(スピードクラス10): 4~32GB(別売) microSDXCメモリーカード(UHSスピードクラス1以上): 64~256GB(別売)	
ファイル形式	静止画:JPG 動画:MP4	
静止画サイズ	(フロント) 21M、18M、15M、12M、8M、5M、2M、1M (リア) 21M(補間)、18M(補間)、15M(補間)、12M、8M、5M、2M、1M	

※すべてのmicroSDHC／SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。

推奨するSDカードは弊社ホームページを参照してください。



仕様

動画サイズ	(フロント)	5120×2880(補間) 30fps、3840×2160 30fps、 2688×1520 60fps、2688×1520 30fps、 1920×1080 60fps、1920×1080 30fps、 1280×720 60fps、1280×720 30fps
	(リア)	5120×2880(補間)30fps、3840×2160 30fps、 2688×1520 60fps、2688×1520 30fps、 1920×1080 60fps、1920×1080 30fps、 1280×720 60fps、1280×720 30fps
防水性能	IPX8(水深5m)	
防塵性能	IP6X	
耐衝撃性能	高さ1.5m	
CALSモード	あり	
シャッタースピード	1/10 秒～1/2650秒	
ISO感度	オート、100、200、400、800、1600、3200、6400	
セルフタイマー	オフ、2秒、5秒、10秒	
内蔵ライト	LED	
露出補正	±3.0EV (1EVステップ)	
ホワイトバランス	オート、昼光、曇り、蛍光灯、電球	
手振れ軽減機能	電子式	



仕様

電源	リチウムイオンバッテリー NP-60
撮影可能枚数	約205枚(CIPA規格に基づく)
入出力ポート	USB Type-C
動作温度	0℃～+40℃
寸法	約112×67×34mm
重量	約150g(付属品、充電池を含まず) 約173g(充電池、メモリーカードを含む参考値)

※USB充電器は、別売：Type-A出力、1ポートDC5V 2A以下のものを使用してください。

セット内容

カメラ本体、リチウムイオン充電池、ストラップ、USBケーブル(Type-A to Type-C)、取扱説明書



仕様

必要なパソコン動作環境

カメラとパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン

Windows
11

動作保証について

- 動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
 - 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。
あらかじめご了承ください。
 - 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
 - USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- ◎ microSDHC／SDXCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- ◎ 記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- ◎ 仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。



保証規定

保証期間：お買い上げ日より1年

- (1)修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
- (2)お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
- (3)正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。
(下記①～⑧など)
- ①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似の起因による故障
- ⑥消耗品(LED・充電電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水・浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合
- (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
- (5)レシートは大切に保管してください。
- (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
- (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。
- (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 【お願い】
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図れるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

発売元：株式会社 ケンコー・トキナー

〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナーホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>



製品に関するお問い合わせ

製品について詳しくはコチラ



お客様お問合せフォームはこちらのQRコードから。
パソコンからは、
「ケンコー・トキナー お問い合わせ」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室



0120-775-818

携帯・IP電話からは

03-6840-3389 ※通話料金がかかります。

受付時間：月～金 9:15～17:30(土、日、祝日、年末年始等を除く)

お願い 本機の廃棄方法は、お住まいの市町村の方法に従ってください。

